

“ホームページ係よりお願い”

会員より「苦工生、わが故郷を語る」という企画で“故郷のPR”” 故郷の町興しに頑張っている “” この様な道産子の組織がある “あるいは” 同窓生の社会での活躍 “等々投稿を募って HP を賑やかにしてほしいとの要望があり第 1 回として鳥井さんをお願いしました。皆様の投稿をお待ちしております。なお、写真を 1~2 枚添付して戴けるとにぎやかになると思います。宜しくお願いします。

## ふるさと会（東京様似会）活動について

私は、苦工電気科昭和 36 年卒業の鳥井賢治です。

現在、関東六華会の役員駒米 隆副会長、松田 貢・井齋英昭・北館昭夫幹事と同期です。彼らほど面倒見やマメさがなく、同窓会総会等の行事参加も不真面目な状況が続いていて誠に申し訳ありません。不参加理由をふるさと会活動のせいにしていたら駒米副会長から、その活動状況をホームページに投稿しろと半ば嚇かされ、投稿した次第です。

北海道の生まれは日高の浦河町ですが、小学校 4 年から中学校卒業まで様似町で育ちました。様似町出身者または様似町に住んだことのある関東在住者で、ふるさと会である「東京様似会」を創立し、現在、事務局長をやっております。

東京様似会は、平成元年に創立し、27 年目を迎えています。目的は、「会員相互の親睦を図るとともに郷土愛を高め、ふるさと様似の発展に寄与すること」として、2 年ごとの「総会と懇親の集い」開催、夏の納涼会、秋の交流会を開催し、会員の親睦、交流を図っています。創立当時、会員は約 280 名でしたが、高齢化はふるさと会にも押し寄せ、現在約 140 名と半減している状況です。

「総会と懇親の集い」の集いには、会員、様似町関係者等約 90 名が参加する状況が続いています。会場は、毎回「上野精養軒」としていますが、“かつて様似から上京し上野駅に降り立った若者が”、その立派なレストランを見て「いつかここで食事ができるような身分に」とお互いの成功を祈り、それぞれの学校や就職先へ向かったというエピソードがある” 憧れの場所で、ここで開催されるのが恒例となっています。毎回、ふるさとの特産品が当たる福引きなどで盛り上がり、これを楽しみにしている多くの高齢者もあり、もう少し世話役を続けたいと思っております。

なお、北海道には多くのふるさと会があり、現在、83 のふるさと会及び 8 つの協賛団体で「北海道ふるさと会連合会」を結成しています。関東六華会の会員各位の出身地にもふるさと会があるかも知れません。下記、URL をご覧下さい。

連合会では毎年 10 月の第 1 週の金・土・日に代々木公園 B 地区イベント広場で「北海道産直フェア」も開催しておりいつも多くの人出があります。

「北海道ふるさと会連合会」URL：<http://www.hokkaido-furusatoren.com/about.html>



平成 26 年 11 月の総会で事業報告・計画等を提案する筆者



平成 26 年 7 月開催の納涼会「北海道炭火ジンギスカン 壱鉄」にて